

平成 22 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	12
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進／ハートフルアクト日進	
ナイトケア事業	20
児童デイサービス事業	23
相談支援事業	29
名東区障害者地域生活支援センター	
サービス品質の向上を目指した取り組み	37
リスクマネジメント	
給食委員会	
法人職員研修	
機関誌「WORKS」編集部	
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

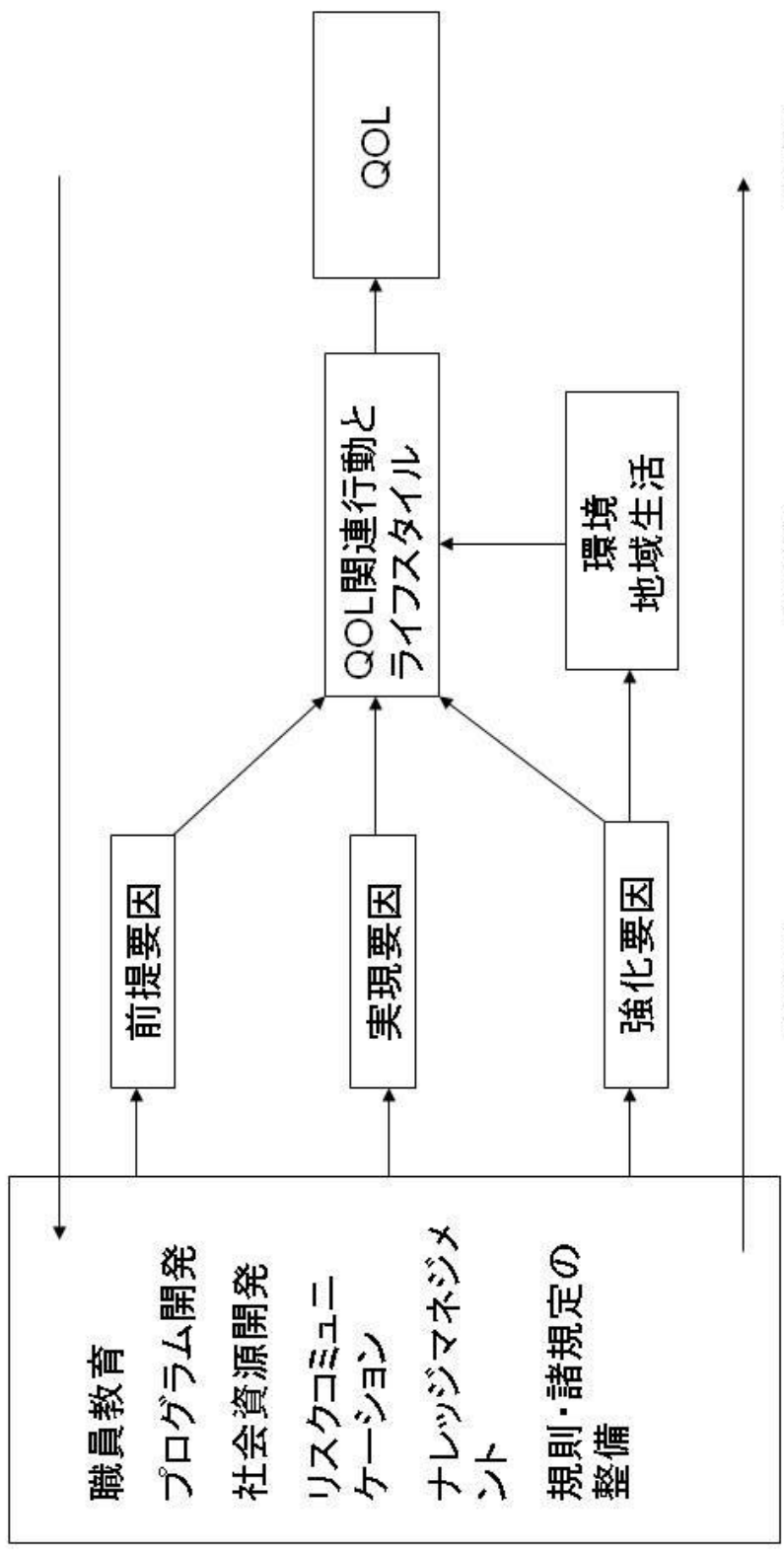
利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル

第一段階
社会的診断

第二段階
行動と環境の診断

第三段階
応用行動分析

第四段階
経営政策決定



第八段階
QOL診断

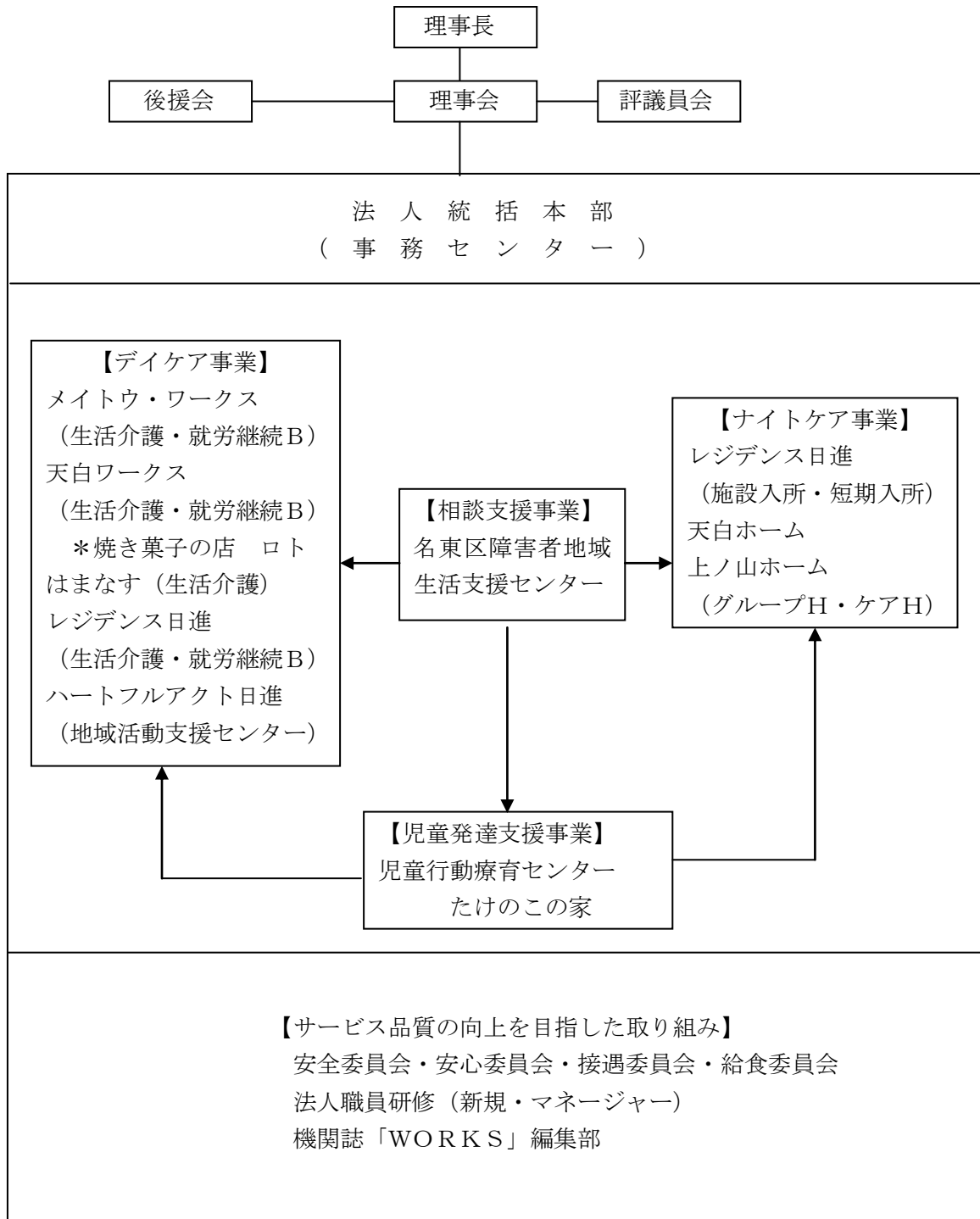
第七段階
行動と環境の効果測定

第六段階
各要因の効果測定

第五段階
経営政策診断

事業機構

1. 機構図 (平成 23 年 4 月 1 日現在)



2. 職員構成（平成23年4月1日現在・計90名）

	理事長	本部長	事務員	所長	支援員 相談員		看護師	栄養士	医師	
					男	女				
法人全体	1	1	3	6	32	44	1	1	1	
メイトウ・ワークス				1	4	8			(1)	
天白ワークス				1	4	8	(1)		(1)	
はまなす				1	3	5			(1)	
レジデンス日進				1	20	19	1	1	(1)	
ハートフルA日進			(1)							
天白ホーム			(1)							(1)
上ノ山ホーム			(1)							(1)
たけのこの家				1	0	3				
名東区支援C				1	1	1				

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(平成 23 年 4 月 1 日 現在)

名東福社会は現在、約 250 名の方々から施設サービスを中心とした利用契約をいただいています。児童行動療育センター（児童デイサービス）「たけのこの家」も東部名古屋地域の児童療育の拠点として、年々、評価を高めています。

各施設とも新体系への移行を控え、障害をもった方々の生活をトータルに支援できるよう、事業の一層の充実が求められています。

1. 年齢分布

(1) 成人対象事業

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	3	2	2	3	3	8	8	8	4		1	43
天白ワークス	1	1	9	2	5	1	6	2	3	1	3	2	36
はまなす			4	2	3	2	7	3	3				24
レジデンス日進				1	2	1	9	7	9	5	1	5	40
ハートフルA日進			2		1				4				7
天白ホーム					1		1		1				3
上ノ山ホーム							2		4		3		9
法人全体	2	4	17	7	15	7	33	20	32	10	7	8	162
	6		24		22		53		42		15		

(2) 児童デイサービス事業

	～2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
たけのこの家			1		3	1	6	2	19	2	11	6	51

2. 居住(出身)地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市														
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	北	中	東	西
メイトウ・ワークス	30			1	1	3			1					1	
天白ワークス	1	17	7		1				1	1					
はまなす	13	5		2	2	1	1								
レジデンス日進	4	5	4	2	2		2		1	2	1		1		
ハートフルA日進	2	1						1							
天白ホーム					1										
上ノ山ホーム	1	3				3		1							
たけのこの家	6	6		2	2			1	1		1	2	1		1
法人全体	57	37	11	7	9	7	3	3	4	3	2	2	2	1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外								市内 小計	合計
	日 進	春 日 井	尾 張 旭	瀬 戸	江 南	他 県 内	県 外	小 計		
メイトウ・ワークス	4		1			1		6	37	43
天白ワークス	8							8	28	36
はまなす								0	24	24
レジデンス日進	8	2	1	2	2	1		16	24	40
ハートフルA日進	1		1			1		3	4	7
天白ホーム						2		2	1	3
上ノ山ホーム			1					1	8	9
たけのこの家	4	4				17	3	28	23	51
法人全体	25	6	4	2	2	22	3	64	149	213

3. 障害の程度：障害程度区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		不明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
メイトウ・ワークス	1		1	2	7	7	5	3	4	3	3	3	4	43
天白ワークス	2		2	2	5	2	9	2	5	3	3		1	36
はまなす					4		5	1	5	3	3	3		24
レジデンス日進					1		3	3	6	3	5	8	11	40
天白ホーム	2				1									3
上ノ山ホーム			1		2		5		1					9
法人全体	5		4	4	20	9	27	9	21	12	14	14	16	155
*平均 4.2	5		8		29		36		33		28			

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	9	6	1	5	10	9	2	1	43
天白ワークス	14	1	5		8	8			36
はまなす	10	2	4	2	3	2		1	24
レジデンス日進	15	9		1	6	8		1	40
ハートフルA日進	4		1		2				7

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
天白ホーム					3				3
上ノ山ホーム	5		1		3				9
たけのこの家	33	6	1	2	6	3			51
法人全体	90	24	13	10	41	30	2	3	213
	114		23		71		5		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	4	2			1		1	2	2		12
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす	1	2		1				1			5
レジデンス日進	3	2				2		1	1	1	10
ハートフルA日進	1						1				2
天白ホーム											0
上ノ山ホーム											0
たけのこの家	3		2	1	2	1	1				10
法人全体	13	8	2	2	4	3	4	4	3	1	44
	21		4		7		8		4		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1	2	3	2	3	7	5	2	2	9	7	43
天白ワークス	2		6	1	4		8	5	4	2	3	1	36
はまなす					3		2	4	4	2	8	1	24
レジデンス日進			5	1		1	16	17					40
ハートフルA日進			4				3						7
天白ホーム			2						1				3
上ノ山ホーム			9										9
たけのこの家	8	1	23	8	9	2							51
法人全体	10	2	51	13	18	6	36	31	11	6	20	9	213
	12		64		24		67		17		29		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	36.5	36.8	37.1	37	36.2	36.3
天白ワークス	35	29.9	29.2	30.0	30.1	29.8	29.4
はまなす	30	23.7	23.6	23.3	23.6	23.2	23.7
レジデンス日進	40	39.1	37.9	39.2	39.1	37.2	39.0
ハートフルA日進	15	5.4	5.5	5.3	5.0	5.3	5.3
天白ホーム	5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
上ノ山ホーム	9	8.7	8.2	8.7	8.6	8.1	8.5
たけのこの家	10	5.3	6.1	7.1	7.2	7.0	7.3

10月	11月	12月	1月	2月	3月
36.4	35.7	37.2	34.7	36.3	35.4
29.9	29.5	29.7	26.7	29.1	29.3
23.8	23.3	23.5	22.8	23.1	23.4
39.0	38.9	37.7	35.2	39.1	39.0
5.4	5.3	5.4	4.5	5.4	5.3
2.8	3.0	2.9	3.0	3.0	3.0
8.5	8.7	8.4	8.0	8.5	8.6
7.3	7.5	6.7	7.2	7.3	7.3

今年度平均	前年度平均	
36.3	36.0	メイトウ
29.4	33.3	天白W
23.4	24.4	はまなす
38.3	37.2	レジデンス
5.3	5.7	ハートフル
3.0	3.3	天白H
8.5	8.3	上ノ山H
6.9	8.4	たけのこ

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* グループホームは、算出上、週末帰省日は除外

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
150	171	166	147	150	158	156	150	157	133	157	179	1874

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6	8	7	8	9	3	11	8	5	5	8	8	86

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	10	7	7	9	7	6
天白ワークス				2	2	
はまなす	3	3	7	5	3	4
法人全体	13	10	14	16	12	10

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
8	7	7	7	6	10	91	メイトウ・ワークス
	1					5	天白ワークス
1	1	3	7	8	3	48	はまなす
9	9	10	14	14	13	144	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながらも、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	縫製	下請他	計
平成 22 年度	706,460	2,615,558	1,063,640	4,385,658
平成 21 年度	727,389	2,517,205	1,099,832	4,344,426

(2) 作業内容

● 陶芸作業

はし置き、季節の人形、平花びん、お皿など、生活を彩る小物陶器を制作。土に触れる段階から、型抜き、制作、絵付け、焼成後仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。

● 縫製作業

各種変身ぬいぐるみを制作。全国各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が多く、利用者の能力に合わせた作業があり参加しやすい。

● 下請作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰めなど、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。

● 委託業務

タウン誌の配布、喫茶スタッフの委託など、地域に密着した業務を請け負うことで、利用者の社会参加につながっている。

(3) 利用者給与支給状況

150 円/日の基本給と 75 円/時の 2 方式。最も多い方で 8,150 円/月ほど。夏・冬季賞与 (最も多い方で 35,400 円) あり。工賃総額 2,444,496 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

終日、作業プログラムに参加することが困難な利用者を対象に、ドライブやウォーキングなどを通じて気分転換や健康維持を行う。地域交流の機会ともなっている。

● グループハイク

小グループによる屋外活動。利用者の個性や希望に応じた場所や時期に行う。テーマパーク・温泉・カラオケ・ボーリング・サーカス・映画・バーベキューなど。

● スポーツ活動

- ・プール活動（身障スポセン）
- ・運動会（グラウンドにて男女対抗）
- ・ウォーキング

各プログラムはレクリエーションを兼ねて、健康維持を行おうとするもの。

● リラクゼーション活動

足湯、アロマセラピーなどを中心としたリラクゼーションプログラム。

● 成人のお祝い

対象者1名。ご家族と共にスライドにて生い立ちを紹介、家族会からも祝辞をいただく。本人参加のバンド演奏もあり楽しくお祝い出来た。

● 外部団体の公演・季節行事

- ・真野けんバンド（オリジナル曲・リクエスト曲の演奏、春のイベント）
- ・ポケットの会（歌や読み聞かせ、クリスマス会）
- ・めいとう朗読グループ（歌やパネルシアター、節分会）

3. 地域交流

地域の町内会や子ども会、高齢者グループに休業日や夕方、施設の空きスペースを開放、年間延べ 63 団体が利用した。また、施設の駐車場を南自動車図書館の巡回ポイントとして利用いただき、地域交流の機会ともなっている（年 8 回程度）。

地域の中学校から福祉体験や職場体験、大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修、福祉専門学校の実習など随時行った。

(1) 地域イベント

厚生院春まつり招待参加、高針北保育園「あそびひろば」招待参加、名東高校・東邦高校学園祭バザー、めいとう福祉まつりバザーに出店した。また、名古屋市厚生院へ利用者と職員で出張陶芸教室を行い、高齢者との交流を行った。（月 1 回）

(2) ボランティア受入

年間延べ 255 名に来所いただいた。利用者個々のニーズに応じたサービス提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりはもとより、地域に開かれた施設であるために不可欠と考える。

天白ワークス

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況（単位：円）

	陶芸	製パン	焼き菓子	精米	下請け他	計
平成22年度	3,051,777		2,774,360	695,670	1,144,569	7,666,376
平成21年度	1,366,323	1,819,548	2,825,790	120,700	1,114,213	7,246,574

(2) 作業内容

● 陶芸作業

ゆのみ、カップ、お皿、マグネットなど生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。単純で分かりやすい作業内容の提示を心掛けている。

大物では、陶壁を製作している。土台を作る段階では、通常の枠を超えた利用者が参加している。建物に取り付け後は、完成品を見学に出かけている。

● 焼き菓子

平成20年9月にオープンした焼き菓子の店〔ロト〕で、手作りのクッキーやパウンドケーキなどを製造・販売している。作業工程を細分化することにより、役割分担が出来て利用者が主体的に作業に参加している。喫茶店や各種団体からの受注製造も行っている。

法人内施設の利用者向けに喫茶の日を設けている。(各施設月1回)。

法人内の会議・家族会のサークル活動の場としても利用されている。

● 精米

名古屋市内の米問屋から玄米を仕入れ、一粒々々、虫食いの米・草の実を選り分けた後に機械で精米して計量・袋詰めをしている。法人内のご家族に販売。注文を頂いてから精米している。

新米の時期には、米どころの新潟の農家から玄米を仕入れて販売している。

● 下請作業

作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。部品の組み立て、製品の袋詰めが主な作業だが、作業を細分化・構造化することで工程の何処かに関われば多くの利用者が生産活動に参加している。利用者の状況に合わせてグループをつくり、グループ別のプログラムイメージを持って提供している。

(3) 利用者給与支給状況

生活介護・就労継続B共に150円/日、又は70円/時を支給。夏・冬賞与あり。

2. レクリエーションプログラム・イベント

● グループ別活動

日中活動のグループのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して散歩・屋内ゲームを交えた体操・音楽鑑賞などを実施。

● バスハイク

日中活動のグループを基本に屋外活動を実施。

● 家族交流会

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的として実施。

2年連続、天白公園でバーベキュー。

● ボランティアさんへ感謝の催し

日頃、お世話になっているボランティアさんとレクリエーションを楽しむ日。年1回のゴスペルグループによるクリスマスコンサートも同時開催。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

天白区区民まつりは実行委員会から参加。同じ町内の御前場秋まつり・あけぼの学園の祭り（夏・秋）に出店。

(2) ボランティア受入

基本的に施設開所日に曜日や時間に制限なく、ボランティアさんの活動できる時に参加していただいている。社会福祉協議会の体験ボランティア事業も積極的に受け入れている。（年間延べ人数 349人）

はまなす

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況（単位：円）

	下 請
平成 22 年度	113,615
平成 21 年度	123,830

(2) 作業内容：下請作業

ポケットティッシュの包装、ガーゼの袋詰め、ナット・ワッシャーの袋詰め。

2業者より作業の依頼を受け行った。納期が週1回及び不定期等、なるべく作業に追われないよう配慮した。

(3) 委託業務

メイトウ・ワークスと合同で、はまなす周辺地域にてタウン誌の配布を行った。(隔週木曜日)

(4) 利用者給与支給状況

500 円/月 工賃総額：144,000 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

● 通常レクリエーション

毎日午後に創作、スポーツ、音楽、ゲーム、お菓子づくり、リラクゼーション等のプログラムを実施。月間の予定を作成し、実施した内容や様子を記録にとり、質の向上を目指した。

● グループハイク

5～6 月、9～10 月、3 月の年間 3 回、小グループによる日帰り旅行を実施。

● スポーツ大会 (運動会)

6/4 名古屋市障害者スポーツセンター体育館にて、家族会と合同で実施。

● プール活動

7～8 月 名古屋市障害者スポーツセンター内プールにて、メイトウ・ワークスと合同で実施。

● 納涼パーティー (夏まつり)

8/11 会食 (特別メニュー)、ゲーム等

● 家族交流会

11/26 利用者、家族会、ボランティア、職員間の親睦交流を目的として実施。(恵那峡見学、恵那峡山菜園にて宴会)

● 年末パーティー

12/24 会食、音楽活動、ゲーム等。また、日頃お世話になっているボランティアさんに感謝の意を表し、利用者の手作り品を贈呈した。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

6/6 高針台 1 丁目町内清掃

6/17 極楽学区盆踊り大会協賛金協力

11/14 めいとうボランティア展参加 (藤が丘駅リニモス広場)

11/28 高針台 1 丁目町内清掃

- (2) ボランティア受入
年間延人数 119人

レジデンス日進／ハートフルアクト日進

1. 作業プログラム

- (1) 実施種目と年間売上状況 (単位：円)

	下請他
平成 22 年度	391,400
平成 21 年度	340,560

- (2) 作業内容：下請作業

作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラムとして、自動車部品の簡易な組立て作業を提供。レクリエーションプログラムと組合わせて日中活動を展開している。

また、新規事業移行を視野に入れた試行として、利用者の一部は法人内事業所に向して日中活動を行っている。

- (3) 利用者給与支給状況

年間 2 回 (夏期、冬期)、下請作業売上を利用者に還元している。夏期は、総額 172,500 円、冬期は総額 195,500 円、合計総額 368,000 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

計画的なプログラム提供を目指して、立案→実施→検証・反省を実施している。レクリエーションプログラムでは、毎週の月曜日・木曜日の午後の時間帯に日進市民生委員のボランティアさんを迎えて実施している。「ウォーキング」プログラムとして、運動不足の解消を目的に、30分程度音楽を流しながら室内を歩行している。また、季節に合わせた創作活動など、利用者参加型を目指している。

イベントプログラムでは、季節感の有る企画として、お花見会 4/5、節句 5/5、流しそうめん 7/7、花火大会 8/20、かき氷大会 7/28 8/5、ミニ運動会 6/30、クリスマス会、クリスマスバイキング大会 (委託給食業者に依頼して昼食をバイキング形式) 12/24、初詣 1/4、お餅つき大会 (還暦のお祝いを兼ね) 1/22、節分豆まき、ひな祭りを実施。8 月には第 14 回障害児・者太鼓フェスティバルに初参加し大舞台を経験。秋には、日帰り旅行で観光バス 3 台 (家族の方々も含め総勢 100 名以上)、ひるがの高原「牧歌の里」10/20。日本福祉大学学生大道芸サークル (3 名) による「大道芸ショー」イベントも実施。

また、レジデンス日進家族会が中心となって「春まつり (たけのこまつり)」「レジデンスまつり (秋まつり)」「クリスマス会」を企画実施して頂いている。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

隣接した学童保育所、動作法グループ、子育て支援グループ、地域の市民グループに「地域交流スペース」の貸出しを実施している。また、大学・専門学校からの保育士実習を受入れている。

「秋まつり」においては、ご近所との交流を大切にする企画として、地元地区の神楽囃子（お囃子）保存会の皆さんに来て頂いて、地元の子供から大人、利用者も一緒になっての交流を図っている。

(2) ボランティア受入

法人嘱託医中心のドクターズバンドに、七夕とクリスマス時期にコンサートを開催して頂いている。日進市民生委員ボランティア、近隣のお掃除（施設内）ボランティアも定期的に参加して頂いている。

* 参 考

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	706,460	3,051,777			3,758,237
縫 製	2,615,558				2,615,558
焼き菓子		2,774,360			2,774,360
精 米		695,670			695,670
下請け他	1,063,640	1,144,569	113,615	391,400	2,703,624
計	4,385,658	7,666,376	113,615	391,400	12,547,449

H21 年度	4,344,426	7,246,574	123,830	340,560	12,055,390
H20 年度	4,727,250	8,321,079	602,895	445,449	14,096,673

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を中核施設としたケアホーム展開を構想しています。上ノ山ホームを5つ目のユニットと考え、レジデンス日進のナイトケアのノウハウを生かすことで、ナイトケアの拡充を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待が増すのは確実で、健康で快適な生活の場の提供を目指していきたいと考えています。

1. 生活モデル

レジデンス日進のユニットでの生活モデルを基盤に、上ノ山ホーム、天白ホームの事業展開をしている。職員配置は、レジデンス日進の職員を中心に、法人の通所事業所の職員によりバックアップ体制の維持が図られている。それらの夜間支援をモデルとして、次期設置予定グループホームのノウハウの蓄積を図っている。

時間	ナイトケアモデル
6:00	起床・朝食・整容 出発（移動）
9:00	日中活動（ハートフルアクト日進及び法人事業所）
12:00	昼食 日中活動
15:00 ～16:00	帰着 入浴・洗濯
18:00	夕食
22:00	就寝
24:00	

2. 各種支援サービス

(1) ユニット単位の支援

レジデンス日進の1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援の基盤をノウハウにして個別対応を中心としたニーズの充足に留意した。特に入浴は、毎日個別に行っている。

(2) 金銭等の管理

レジデンス日進及びホーム利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨として行っている。

(3) 健康管理

レジデンス日進、上ノ山ホーム、天白ホームの生活施設における健康管理の重要性を踏まえ、看護師を中心となり、現場支援員の連携を図りながら取り組んでいる。

年2回(6/2 12/1)の定期健康診断、体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診(7/8)、

生活習慣病予防対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）30分間のウォーキングを実施している。また、感染症対策、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続受診も支援している。往診を含め囑託医を中心とした地域医療機関との連携にも留意している。

また、体調シートを作成し、現場支援員との協力により利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置、状況を記入し、特に傷や怪我については、入浴時にチェックをおこなっている。

緊急対応マニュアルの整備として、てんかん発作の際の個別対応シートを作成し、特に夜間帯における対応方法を職員会議で確認した。緊急時により早く対応できるように各ユニットに設置している。

児童デイサービス事業

児童行動療育センターは、平成 19 年 5 月にスタートして以来、行動療法理論に基づくセラピーの場として活動してきました。この春には、学齢期の子どもたち約 17 名が巣立っていきました。

児童期の過ごし方で、成人期の行動障害は軽減されます。特に就学前の療育のあり方は重要です。児童行動療育センターでは、専門スタッフによるセラピーを通じて、ご家族に子どもへの正しい対応を学んでいただくことができます。

1. 利用児童の状況 (P.7~10 利用者の状況参照)

3歳児から小学生まで利用していただいています。3歳児検診の状況や、ことばが遅い、視線が合わない、多動である等に保護者が気づかれる3歳以降から利用を始める方が多く見られます。

また、行動療法を療育の手法としている児童デイサービスであるために、行動療法を受けるために利用を希望される方が利用希望者の大半を占めています。したがって、利用児童の居住地も、日進市、名古屋市全域にとどまらず、遠隔地からの利用者もみえます。

障害の種別としては、年齢が低いこともあり、障害名が付かない児童も見られますが、広汎性発達障害（自閉症）と診断された方が大半を占めています。

● 居住地内訳 (計 51 名)

名古屋市	23	豊明市	7	稲沢市	4
日進市	4	他愛知県内	10	岐阜県	3

● 年齢区分

	～3歳		～4歳		～5歳		～6歳		7歳～		小計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	1	0	3	1	6	2	19	2	11	6	40	11	51

2. 利用相談内容

利用にあたっての相談では、年齢が低い段階では「子どもとやりとりができない」「視線が合わない」等の親子間に関する相談が多く、年齢が上がっていくに連れて「ルールが守れない」「お友達とのやりとりができない」等、社会性に関する相談が多くなっています。

保護者の相談数は、3歳児検診受診後や子どもの特徴がはっきりしてくる3歳以降に増化が見られます。

	ソーシャルスキル	多動	パニック	言語	自己刺激	他害	コミュニケーション	目線	こだわり	異食	計
～2歳		1	1	2	1		2				7
3歳	2	2	2	2		1	1		2		12
4歳	2	1	5	6		3	5		2		24
5歳	1	3		2		2	2				10
6歳											
7歳以上											
計	5	7	8	12		6	10		4		

3. サービス内容

人間の行動原理や学習理論に基づいた、行動療法によるセラピーを実施しています。セラピーには行動療法士、臨床心理士等、専門スタッフを配置しております。

療育プログラムについては、ひとり一人の子どもに適したプログラムをスタッフが作成しますが、保護者にも参加していただき、保護者の相談や教育も重視しています。

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別・集団療育	9:30～10:30	2名	約1000円/1回
通所療育②	個別・集団療育	11:00～12:00	2名	約1000円/1回
通所療育③	個別・集団療育	13:30～14:30	2名	約1000円/1回
通所療育④	個別・集団療育	15:00～16:00	2名	約1000円/1回
通所療育⑤	個別・集団療育	16:30～17:30	2名	約1000円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:30	月2回まで利用可	1時間まで約200円 1時間以上約300円

4. 関係機関との連携

職員派遣による行動療法による療育についての説明や、教育機関、福祉機関に対して専門的な助言をおこなってきました。

また、幼稚園教諭や保育園保育士の見学受け入れにより、支援内容についての提言等も実施しました。

また、本年度は法人内の成人利用者に対する支援についても、助言を行ってきました。

機関	実施日	形態	内容
日進市障害者相談支援センター	4/12	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
金城幼稚園教諭	4/20	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市福祉課	5/6	打ち合わせ	自立支援協議会部会打ち合わせ
日進市自立支援協議会	5/11	協議会参加	子ども部会参加
メイトウ・ワークス	5/19	職員派遣	支援相談
メイトウ・ワークス	6/3	職員派遣	支援相談
メイトウ・ワークス	6/9	職員派遣	支援相談
尾西病院	6/15	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
保育士	6/18	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
相野山小学校	6/30	職員派遣	療育相談
メイトウ・ワークス	7/9	職員派遣	支援相談
天白ワークス	7/13	職員派遣	支援相談
メイトウ・ワークス	7/16	職員派遣	支援相談
利用児童自宅	7/16	家庭訪問	療育相談
メイトウ・ワークス	7/23	職員派遣	支援相談
天白ワークス	8/4	職員派遣	支援相談

中京大学	8/5	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
関西学院大学	8/31	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
中京大学	9/17	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	9/28	協議会参加	子ども部会参加
日進市学校教育課	10/19	相談	利用児童の進路相談
メイトウ・ワークス職員	10/28	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス職員	11/4	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス職員	11/5	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス職員	11/19	見学受け入れ	行動療法について説明
日進市自立支援協議会	11/19	協議会参加	子ども部会参加
保育士	12/2	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	12/15	勉強会	瀬戸市立養護学校見学
はまなす職員	12/16	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス職員	12/16	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス職員	12/17	見学受け入れ	行動療法について説明
東郷町カンガルー教室教諭	1/21	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	1/21	協議会参加	子ども部会参加
メイトウ・ワークス	1/25	職員派遣	支援会議
はまなす職員	1/26	見学受け入れ	行動療法について説明
はまなす職員	1/27	見学受け入れ	行動療法について説明
はまなす職員	2/15	見学受け入れ	行動療法について説明
はまなす職員	2/17	見学受け入れ	行動療法について説明
天白ワークス	2/17	職員派遣	支援相談
はまなす職員	2/23	見学受け入れ	行動療法について説明
はまなす職員	2/24	見学受け入れ	行動療法について説明
はまなす職員	3/3	見学受け入れ	行動療法について説明
メイトウ・ワークス	3/9	会議	支援会議
メイトウ・ワークス	3/11	職員派遣	支援相談
天白ワークス	3/11	職員派遣	支援相談
日進市自立支援協議会	3/18	協議会参加	子ども部会参加
福井 CBT センター	3/28	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明

5. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
新人職員研修	4/5		新人職員研修。虐待防止について
勉強会	4/23		テーマ学習
勉強会	5/14		事例検討
CCBT	5/15	中京認知行動療法研究会	事例検討 (コメンテーター：山上敏子先生)
勉強会	5/16		テーマ学習 (数量概念の指導)
勉強会	5/28		テーマ学習 (就学について)
勉強会	6/11		テーマ学習 (比較概念の指導)
研修会	6/19, 20	日本自閉症スペクトラム学会	講座
勉強会	6/25		事例検討
勉強会	7/9		テーマ学習
勉強会	7/21		テーマ学習 (ABA の基礎)
講演会	7/26	ゆうこうの家	就学に関するメリット・デメリット (華山将先生)
研修会	7/28	福祉協会児童通園施設部会	障害児通園施設職員現任研修・所長会
勉強会	9/10		テーマ学習
勉強会	9/15		テーマ学習 (構音訓練)
CCBT	9/18	中京認知行動療法研究会	行動療育家の養成に不可欠な基礎理論、基礎技術 発達障害児に対する療育の意義 発達障害の現状
講演会	9/23	ちゃれんじキッズ	子育て・親育ての原理原則 (奥田健次先生)
勉強会	9/24		テーマ学習
学会	10/9~11	日本LD学会	通常学級における特別ニーズをもつ子どもの支援-子どもの学びを保護する連携-
勉強会	10/22		事例・テーマ学習 (書字)
講演会	10/24	NPO 法人ゆう	発達障害児の思春期と二次障害のシナリオ (小栗正幸先生)
研修会	11/6	日本自閉症スペクトラム学会	講座
勉強会	11/12		テーマ学習
勉強会	11/17		テーマ学習 (身辺自立)

講演会	11/21	愛知精神神経科 診療所協会・りん くす名古屋	地域のネットワーク作り 発達障害者本人による体験発表を交 えて（田中康雄先生）
講演会	11/21	りんくす名古屋	発達障害と告知（大高クリニック医院 長）
セミナー	11/27	日進市障害者相 談支援センター	子どもの療育、保護者のサポートにつ いて
学会	12/4～6	日本行動療法学 会	切れる最新の理論と途切れない地道 な実践
勉強会	12/10		事例検討
勉強会	1/19		テーマ学習（PECS）
勉強会	1/28		テーマ学習（色概念の指導）
勉強会	2/25		事例検討
研究会	3/5	愛知 J☆ s Kep 研 究会	スケジュールの指導ステップと教材 の活用法について
勉強会	3/16		テーマ学習（WISC－Ⅲ）

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害をもった方々の支援を積極的に行ってきました。当事者の意向に沿った地域生活支援、自立支援の重要性は増すばかりですし、そのための地域ネットワークの構築は必須です。そんな中で、相談支援事業には、個別相談から地域の課題を抽出し、地域づくりの推進役となることが期待されています。

名古屋市の委託を受けて設置された「名東区障害者地域生活支援センター」は、障害者地域自立支援協議会の事務局も担っており、都市部での相談支援のあり方を考え、地域づくりに貢献していきたいと考えています。

1. 名東区障害者地域生活支援センター

(1) 相談業務

● 新規相談の状況

平成 22 年度の新規相談者実数、内訳等は以下の通り。相談受付作成分のみをカウントしており、電話による短時間の情報提供やサービス調整は入っていない。

相談者数が前年度に比べ 25%増加しており、障害種別としては「知的障害」の増加が目立っている。日常業務を通して、軽度の知的障害の方の相談が多くなった印象が強く、<一人暮らし><結婚><妊娠><就労><余暇>といったキーワードが思い浮かぶ一年であった。思春期や成人後に手帳を取得したというケースも増えており、結果として、「障害・症状の理解」に関する相談も増えていると思われる。

「健康・医療」に関する相談も増加しており、医療分野との連携がますます求められると考えている。

【居 所】

	名古屋市内			市外	計
	名東区	守山区	緑区	日進市	
相談者数	46	1	1	1	49

【年齢—性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	6	24	30
女	3	8	11
不明	2	6	8
計	11	38	49

【障害種別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	18	1	27	0	8	1	2

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症状 の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	41	17	17	9	3	22

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
12	8	9	9	6	32

● 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成 22 年度に関わった相談者数、内訳等は以下の通り。相談受付の作成までには至らなかった軽微なケースも含まれており、1 年間の相談支援実績そのものと言える。

相談者数自体は微増であるが、「知的障害」の方からの相談の増加が目立つ。単身または高齢の親との世帯など、生活基盤がぜい弱で、生活全般への支援が必要なケースが増えてきている。

就労を目指す相談者との関わりも目立っており、就労支援機関との連携のあり方について、整理が必要であると考えている。

月別実績では、前年度に比べて訪問が 8 割増、外来も 2 割増となっている。10 分以下の電話など、相談受理後の調整業務等は含まれていない数であることを考えると、相談支援へのニーズの高まりを感じる。また、当センターとしては個別支援会議の実施数を重視しているが、こちらも前年度の 2 倍以上となっている。

ただ、これらの件数自体、年度で大きく変動する認定調査数に大きく影響されている側面があり、都市部の相談支援の課題として、構造的な解決が望まれる。

【居 所】

	名古屋市内							市外		県外	合計
	名東	千種	守山	熱田	緑	港	西	日進	豊明	三重	
人	177	2	2	1	1	1	1	3	1	1	190

【年齢—性別】

	児童（～17 歳）	成人（18 歳～）	計
男	18	80	98
女	5	38	43
不詳 1	9	26	35
小計	32	144	176
不詳 2	14		
合計	190		

【障害別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	75	5	89	9	23	2	17

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症状 の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	165	52	53	32	14	69

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
42	26	25	28	19	104

● 月別実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	38	50	45	31	36	28	43	37	36	39	40	59	482
	外来	73	91	94	83	80	83	73	81	83	76	83	91	991
個別会議		4	7	3	2	6	0	1	8	3	0	3	6	43
認定調査		18	15	23	11	6	18	12	6	8	7	11	16	151
配食アセス		2	1	5	1	5	1	2	2	2	7	3	2	33

(2) 名東区障害者自立支援協議会

平成22年12月の自立支援法改正において、地域自立支援協議会が法的に位置付けられ、その重要性が増す中、名東区協議会も4年目の取り組みとなった。

本年度の特徴として、以下の点が挙げられる。

- ・ 事務局会議を定例化し、協議会の方向性を詰めやすくなった。また、区内状況や困難事例の共有が進んだ。
- ・ 区政運営方針事業により、行政との協働を深めることができた。
- ・ 教育、医療といった他領域との連携の足掛かりができた。
- ・ 事例検討会を開始し、困難事例の解決に様々な立場の参加を得る機会ができた。

今後も、地域のネットワークの輪を広げ、地域の困りごとを地域で考えていく姿勢を継続したい。

	実施年月日	会場	参加	内 容	
協議会	H22/4/28(水)	区役所	17名	区内の状況・昨年度報告・今年度計画	
	H22/10/20(水)	〃	18名	前期事業報告・後期事業のあり方・情報共有	
運営 会 議	H22/5/28(金)	〃	10名	部会報告 区政運営方針 研修会企画 情報提供 事例共有	民生委員連携・法改正動向
	H22/6/30(水)	〃	12名		民生委員との連携
	H22/7/30(金)	〃	12名		民生・児童委員協議会報告
	H22/8/25(水)	〃	11名		事例検討会立ち上げ
	H22/9/24(金)	〃	12名		部会再編
	H22/11/26(金)	Nひまわり	10名		スーパーバイズの必要性
	H22/12/24(金)	区役所	12名		法人後見C準備会の立上
	H23/1/28(金)	〃	9名		協議会の課題
	H23/2/23(水)	〃	15名		濱口先生を迎えて*3
	H23/3/16(水)	ひまわり			瀧先生を迎えて*3

事務局 会 議	H22/4/20(火)	〃	7名	区内の状況・本会のあり方・役割分担・事例	
	H22/5/19(水)	〃	7名	事例検討会 研修会 区政運営方針 事例共有	
	H22/6/23(水)	〃	7名		民生委員との連携
	H22/7/23(水)	障SC	7名		民生・児童委員協議会報告
	H22/8/20(金)	区役所	7名		部会の方向性
	H22/9/17(金)	〃	7名		本会のあり方
	H22/10/15(金)	〃	7名		〃
	H22/11/16(火)	〃	7名		本会を受けて
	H22/12/21(火)	〃	7名		まもる部会のあり方
	H23/1/25(火)	〃	7名		〃 ・施策推進協懇談
	H23/2/18(金)	〃	7名		来年度に向けて
	H23/3/23(水)	〃			
まもる 部 会	H22/4/21(水)	〃	7名		一人暮らし移行事例・成年後見制度
	H22/5/21(水)	〃	8名	〃 ・研修会企画	
	H22/6/18(金)	〃	9名	〃 ・ 〃	
	H22/7/21(金)	〃	7名	〃 ・今後の部会の方向性	
	H22/8/18(水)	〃	10名*1	〃 ・「あさがお」見学	
	H22/9/15(水)	〃	10名*2	市後見あんしんC・区後見C構想・ 〃	
	H22/11/5(金)	見学会	9名	NPO 法人「あさがお」見学	
	H22/11/12(金)	区役所	10名	見学を終えて・後見C準備会の位置づけ	
	H22/12/17(金)	〃	9名	後見C準備会の位置づけ・事例報告	
	H23/1/21(金)	〃	6名	〃	
	H23/2/25(金)	ひまわり	7名	事例検討・権利擁護C準備会立ち上げ	
	H23/3/25(金)	障SC			
しる 部 会	H22/4/20(火)	障SC	6名	今後の部会運営	
	H22/5/19(火)	〃	3名	〃	
	H22/6/15(火)	〃	4名	民生委員との連携・アドバイザー活用	
	H22/7/20(火)	支援C	3名	今後の部会運営・民生・児童委員協議会報告	
	H22/9/21(火)	〃	2名	〃	
	H22/11/16(火)	ひまわり	4名	〃 ・ひまわり見学	
うごく 部 会	H22/6/16(水)	〃	8名	バリアフリーマップ・ヘルパー空き情報共有	
	H22/7/14(水)	ひまわりH	4名	ヘルパー空き情報共有	
	H22/9/22(水)	こいけH	5名	バリアフリーマップ・ヘルパー空き情報共有	
	H22/10/19(火)	〃	4名	〃	
	H22/11/18(木)	〃	5名	〃	
	H23/2/15(火)	〃	5名	〃	
はたら	H22/8/26(木)	区役所	5名	アンケート調査報告・検討・次回会議	

く部会	H23/1/18(火)	〃	12名	雇用機会創出会議
	H23/2/7(月)	ひまわり	3名	会議報告作成
事例 検討会	H22/10/6(水)	Nひまわり	15名	一人暮らし移行事例(アセスメント～プラン)
	H23/2/3(木)	障SC	13名	〃 (モニタリング)
研修会	H22/7/12(月)	障SC	51名	Gホームからの移行支援を通じて*3
	H22/10/31(日)	Nひまわり	26名	障害をもつ子どもへの支援の基礎
その他	H22/6/2(水)	区役所	4名	区政運営方針 施設製品の販路拡大打合
	H22/7/10(土)	上社コミC	16名	上社学区 民生・児童委員学区協議会
	H22/11/2(火)	〃	4名	区政運営方針 施設製品の販路拡大打合
	H22/12/2(木)	ひまわり	4名	〃

*1 名古屋保護観察所 社会復帰調整官2名 見学参加

*2 区福祉課実習生1名 見学参加

*3 区政運営方針アドバイザー派遣事業活用

(3) 関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣、研修参加

県市や地域の関係機関との連携のため、外部会議への参加や研修講師の依頼を積極的に引き受けている。相談支援体制整備という観点からも、果たすべき役割を担う必要性を感じている。

研修の受講についても、相談支援技術のスキルアップを始め、関わっている困難事例の解決に向けて、関連領域や障害特性の学習に努めている。

会議名	実施日	参加機関等	内容
連絡調整会議			
名古屋市障害者地域生活支援C連絡会	5/25,7/22,10/27 12/22,3/29	名古屋市担当課 市関係機関 各区支援C	制度動向説明、市町村事業、支給決定事務、認定調査、テーマに沿った話し合いなど
名古屋市支援C東ブロック会	6/28,9/6,11/15 2/21	中・昭和・千種・ 名東各区支援C	情報共有、テーマに沿った話し合い、施策提言のあり方
名古屋市施策推進協委員との懇談	1/21	施策推進協委員 支援C代表者	第3次障害福祉計画への相談支援領域からの提言反映のあり方
名古屋市知的障害者生活体験訓練事業利用者決定会議	11/18,3/14	名古屋市担当課 関係区支援C	「ちゃれんじホーム」利用希望者の調整
愛知県障害者自立支援協議会人材育成部会	7/21,9/21,2/22	各分野の研修講師の代表・学識経験者	県主催・委託研修の整理、次年度への提言
名東区社会福祉協議会地域福祉活動計画推進会議	7/15,8/17,8/19 10/21,11/16	公募区民・ボランティア団体など	「情報部会」「高齢者・障害者・支援者ネットワーク設立ワーキング会議」に参加

なごや障害者就業・生活支援 C 会議	6/25,11/8	就・生支援 C 行政等関係機関	就業支援と生活支援システム構築の検討
養護学校等卒後対策連絡協議会	6/1	盲聾肢体養護学校・関係施設・行政等	身更相による、養護学校と関係施設等の情報交換、検討会
講師派遣			
名障連主任・中堅研修（障害者ケアマネジメント）	7/14,8/25,9/16 10/7,11/17 12/25	名古屋市・名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議主催	愛知淑徳大 谷口先生を中心講師としたケアマネ研修。主任・中堅職員を対象に、講義とグループ演習を行う
愛知県相談支援従事者現任研修	7/27~29	愛知県主催	県内相談支援専門員のスキルアップおよび資格更新研修
愛知県相談支援従事者初任者研修	10/13~14 1/19~20	愛知県主催	県内障害福祉関係者の、相談支援専門員資格取得研修
愛知県相談支援専門員協会研修	9/23,12/19 2/25,3/4	愛知県相談支援専門員協会主催	発会シンポ、ファシリ研修、ネットワーク会議、スーパーバイザー研修の企画・運営
千種区手をつなぐ育成会	11/24	千種区手をつなぐ育成会	知的障害者のご家族向けに地域自立支援協議会の役割を説明
その他			
名東区手をつなぐ育成会	4/23 総会	12/23 クリスマス会	2/8 卒業生を祝う会

(4) 職員研修

名称	実施日	内容
障害のある子どもたちを地域ではぐくむために	6/5	「あいち学齢児童デイ連絡会」主催による、制度施策動向に関するシンポジウム
都道府県障害程度区分指導者研修	6/22	厚生労働省主催による、都道府県推薦者の研修で、修了者は翌年度の県の認定調査員研修の講師を務める
愛知県相談支援従事者現任研修	7/27~29	愛知県主催による、県内相談支援専門員のスキルアップおよび資格更新研修
特別支援学校と地域を結ぶセクシュアリティ支援セミナー	8/27	「ハートブレイク」主催による、障害者の性の問題に関する支援のあり方の学習会
名古屋市障害者ケアマネジメント研修会	9/28	「対人援助のあり方について考えよう」 講義と事例を通じたスーパービジョン
	10/22	「発達障害の特性と対応」講演
	11/11	発達障害相談の受け方とロールプレイ
	2/9	「障害者生活支援センターに求められること」講義

司法と福祉を結ぶインクルージョンをめざして	11/13	愛知県知的障害者福祉協会主催による、触法ケースへの対応に関する講演とシンポジウム
共生フォーラム愛知 2010	12/11	「全国地域生活支援ネットワーク、ふわり」共催による自立支援法改正を受けた講演、シンポジウム
スーパーバイザー育成研修	3/4	愛知県相談支援専門員協会主催による、「ケア会議の手法」演習と講義

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。平成 23 年度には法人内研修の仕組みとして「マネージャー研修」が、テーマ別のサービスチェックの仕組みとして「安全」「安心」「接遇」の 3 委員会がスタートしました。

障害福祉を取り巻く環境の変化はまだまだ続きますが、法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指して、次の時代の福祉サービスを創造していきたいと考えています。そのためにも、人材育成やサービス改善は繰り返されるのだと思います。

1. 委員会

【安全委員会】

(1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人単位でのリスクマネージメントを実施。リスクマネージャーを1名設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット・事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握・法人全体での共有・分析とリスク軽減に努めている。単に事故防止に留まらず、安全で質の高いサービス提供を目指した職員教育や、苦情解決・サービス評価などの取り組みと連動したシステム作りが必要である。

(2) 構成

リスクマネージャー 1名

(3) 活動報告

● 報告件数

「ヒヤリ・ハット・事故報告書」は、WEB上のASPシステムを利用して、各事業所から提出される。平成22年度中に提出された件数は、以下の通りである。

報告区分	ヒヤリ	ハット	改善提案	事故	苦情	合計
報告数	41	4	0	53	4	102

● 内容

平成22年度の名東福祉会「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の主だった報告内容は、以下の5点である。

- ・転倒
- ・破損・紛失
- ・投棄
- ・他者への攻撃
- ・外傷

● 要因

「ソフト」に関する要因が9割以上を占めており、圧倒的に多い。より詳細には、

- ・確認が不十分
- ・観察が不十分
- ・判断に誤り
- ・連携の問題

の4点が挙げられる。

● 考 察（今後に向けて）

報告内容や要因、特に「ソフト」に関する要因が大半を占めていることなど、知的障害の方を主な対象とする事業の必然であろう。事故報告が半数を占めているが、支援行動を消極化するのではなく、積極展開のための材料とするような視点が大切であると思われる。

平成 14 年度に始まったリスクマネジメントの取り組みは 10 年目を迎えたが、平成 18 年度の 420 件をピークに報告数は減少し、施設間格差も拡大している。

障害者福祉の世界も契約時代が本格化することを考えると、リスクマネジメントは組織にとって必須の取り組みであり、当面、マネジメント体制の再構築が課題となる。

【安心委員会】

【接遇委員会】

(1) 目 的

職員の利用者への接し方という観点で、日頃のサービス提供から事業所プログラムのあり方までをチェックし、「その年齢にふさわしい」関わり方を検討して各事業所の取り組みに活かす。

(2) 構 成

各事業所の希望職員（14 名）

(3) 活動報告

4. 給食委員会

(1) 目 的

利用者の健康管理・安全管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、委託業者と一体となり、よりよい食事サービスの提供につなげていき、法人全体での利用者の健康及び食の質の向上を目指す。また、将来を含めた利用者の健康を考えていく機会と捉え、委員会はその為の情報発信をしていく。

(2) 構 成

各事業所の職員 1 名（法人管理栄養士を含む）

(3) 活動報告

毎月第 2 水曜日に実施

- ・ 利用者個別対応の検討（健康を考慮した提供）
- ・ 各月の食事提供方法の検討
- ・ イベント食等、楽しめる食事提供の提案
- ・ 委託業者との折衝、交渉
- ・ 給食業者主催の衛生講習会（厨房従事者向け）に参加 9/21

（4）委員学習会

給食委員会においてテーマを決めて学習をおこない、委員の見識を深めた

- ・ 使用食材別原産国・製造国・仕入れ業者についての調査・報告
- ・ 改正日本人の食事摂取基準より名東福祉会の給食を考える
- ・ 野菜・農産物における残留農薬について
- ・ 栄養士研修の報告（愛光園）
- ・ 輸入食品の安全性について（残留農薬基準）
- ・ 多剤耐性菌について
- ・ 厨房における汚染作業区域と非汚染作業区域について
- ・ インフルエンザについて
- ・ 摂食・嚥下障害について
- ・

5. 法人職員研修

【新規職員研修】

（1）目的

法人新規採用職員を対象に、障害特性の理解や支援者としての姿勢、サービス提供上の留意点、報告・記録の重要性など、現場業務の基本を学んでいただく。

（2）構成

法人新規採用職員、本部長、レジデンス日進副所長

（3）活動報告（参加者数）

本年度は 10 名の職員を新規採用し、採用時ごとに職員研修テキストに従い研修をおこなった。

また、利用者支援全般の理解のために、24 時間対応施設であるレジデンス日進を最初の勤務先とし、1 ヶ月間は勤務記録を毎日提出させる等のおこない、実践研修を実施した。

6. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.124 (6月発行)

自己決定支援と給食サービス (理事長 加藤久和)
「食」を通じた利用者との関わり (管理栄養士 今泉美奈)
私の「食」へのスタンス (名東区障害者地域生活支援センター 小島一郎)

No.125 (11月発行)

奈々枝さんを追悼して (理事長 加藤久和)
「加藤奈々枝会長を偲ぶ会」 (WORKS 編集部)

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4
TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
生活介護 就労継続	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
地域活動支援 センター	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
児童デイサー ビス	行動療育センター たけのこの家	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 14-3	(052)800-2203	(052)800-2204	ABA@meito.or.jp
グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ケ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp
ケアホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	